



【歯ブラシ刺さり大量出血も…旅行中は「子どもの歯磨き中の事故」が怖い】

1～3歳の子どもは、あちこち動き回りたい時期。親が見ていないところで、思わぬことをして驚いたことがあるのではないのでしょうか？



自宅でも注意したいことがたくさんありますが、その中の一つに“歯磨き中の事故”があります。これから旅行や帰省で、お泊まりが増える時期。いつもと違う環境で普段よりはしゃいでいることも多いでしょう。

■歯ブラシを持ったまま“ジャンプ”や“転落”に気を付けて

消費者庁が配信する『子ども安全メール from 消費者庁』では、次のような事故の例を紹介して、注意を呼びかけています。

「歯ブラシを持ちジャンプして遊んでいた。泣き声で気付くと口から大量の出血あり。止血したが、数時間後に発熱、翌日には細菌による炎症を併発して入院となった。」（2歳）

「夜、ベッドで飛び跳ねながら歯磨きをしていて転落。うつ伏せで、喉の奥に歯ブラシが数センチ突き刺さっていた。救急搬送され入院。」（3歳）

「夜、仕上げ磨き後に、歯ブラシをくわえたままソファで転落。仰向けで多量の出血あり。約1週間入院。」（1歳）

このように、歯ブラシを口にくわえながら遊んでいて、大きな事故につながったケースが多数報告されています。

歯を磨くことは大切で、子どもに自分で磨かせることも、とても大切なこと。でも、万一大きな事故につながってしまったら、悔やんでも悔やみきれません。

■歯磨きをする際には、必ず付き添う

小さい子どもが歯磨きをするときには、親がしっかり目を配るようにしましょう。

もし、歯磨き中に飛び跳ねたり遊んだりするようなら、「危ないからやめなさい！」としっかりと伝えることが重要です。

特に旅行先のホテルなどでは、普段家にあるベッドやソファと高さや配置が異なるので、危険度も高いといえます。

「今日はせっかく旅行にきたんだし、別に注意しなくてもいいかな……」などと、親が油断したその日に、大きな事故につながってしまったらは大変！ どんなときでも、歯磨きのたびに、しっかり気を付けるようにしたいですね。

消費者庁『子ども安全メール from 消費者庁』
<http://www.caa.go.jp/kodomo/mail/>

Wooris「歯ブラシ刺さり大量出血も…旅行中は「子どもの歯磨き中の事故」が怖い」
<http://wooris.jp/archives/145743>



(c)KFF STUDIO